

第3章 産業技術の未開状態 (P.88-116)

* 技術的知識の集団的な連帯(状態) (88R2-93L8)

公共資本の性格 (88R2-89R9)

ある特別な技法や熟練が、公共資本から分離されて排他的に保持されることがある。

(89L9-90L8)

- ・ 低度の文化では魔術的ないし儀式的な性格 (89L6-4)
- ・ (所有権と産業の専門化が効果を持つようになった) 産業技術のいっそう進んだ状態では、企業秘密、特許権、版權など。 (90R1-3)
- ・ しかし、……、この種の事実が、結局、重大な永続的な影響をなんら持つものではない……。 (90R3-5)
- ・ ~~技術の特殊化が早く進められた~~産業の発展の最近段階においては、技術的成果と伝達の離れは全体の中で特殊な場合である (90R9-L8)
- ・ さらに遠くまで進められてしまった現状では？

特殊化と差別化 (91R1-93L8)

- ・ 誰でも〔技術という〕非物質的な装備である公共資本に自由に近づくことができるが、……。 (91R1)
- ・ ある程度の特特殊な訓練と知識、職業のかなりの特殊化が存在する。 (91R2)
- ・ 故意の特殊化 (91L7)
- ・ 産業技術の状態は産業社会の大きさによって制約される。 (93R4-5)
- ・ ~~しかし、最近流布する理論的所説の多くは、このあり様柄とは致しな~~熟練の仮定に基づいて開き得る〔が〕本書の後の節で、ここで述べた事柄が前提とされるということもあって……。 (93R7-9)

* 諸民族間での技術的熟達の種類と程度での相違とその根拠 (93L7-)

- ・ ある社会でなされる技術的成果の程度と性格は、…、社会の個々の成員の職人的な性向と能力に依存するであろう。それゆえ、いくつかの民族の間のこの点での生来の才能の相違は、彼らの技術的な業績の性格と成果の程度に現れるであろう。 (93L7-3)

混血民族の広範な可変性 (94R6-L1)

- ・ 西欧諸民族……いくぶん粗野だが効率的な機械的手段の利用 (94L2-1)
- ・ 日本・東アジア……手工業における熟達 (94L2-1)

* 人種的型の安定性の仮定と突然変異 (95R1-98L5)

- ・ 人種的型が安定している場合 (95R1-97L5)
- ・ 突然変異の推論 (97L4-98L8)
- ・ 〔人種的〕型の安定性を、……、承認することから引き出し得る便宜 (98L7-5)

* ヨーロッパの主要種族の起源 (98L4-100L5)

その十中八九まで、未開の低度水準と見なされる状態で生活史を開始した。 (98L4-3)

〔ヨーロッパの主要な〕種族は生まれながらに道具を利用でき、かなり進歩した技術に容易に習熟できたのである。 (99R7-8)

職人技の長期間続いた累積的経験と、……蓄積された知識がなければ、ヨーロッパの

特徴的な人種のどれも生き残ることができなかった……。 (100L8-6)

- * 未開水準におけるヨーロッパの種族 (100L4-)
 - 初期新石器時代：生き残りの第一要件 (101R8-L7)
 - ・ 親性性向と職人技感覚を前景に押し出すこと (101R8-L7)
 - けんか好き，略奪的気質をより多く持った最も若い種族，ブロンド系の台頭 (101L6-3)
 - ・ 冒険好き，けんか好き，優れた体格 (101L3-1)
 - ・ 精神的傾向：抜け目のない蛮勇と物騒さ (102R4-8)
 - 文化の起源と人類の初期の歴史に関する想定 (102R9- L5)
 - ・ 「自然状態」は万人の悪事と疑念に表される血を流し傷つけ合う状態 (102L9-7)
 - ・ 隣人を害することに常に忙殺されるような余裕は持ちえず……。 (102L5-3)
 - ・ 宗教や迷信的行事の証拠 (103L8-104L1)
 - ・ 遺跡からの考察 (105R1-L1)
 - 消極的な結論 (106R1-107R2)
 - ・ ヨーロッパ初期に最重要であった種族の新石器文化に関わる考古学的資料からは，好戦的な，略奪的な起源を立証することは出来ない。 (106R1-3)
- * バルチック文化 (107L5-112R10)
 - 後の西欧文明と起源的に結ばれているかぎりでは，優れた事態を明らかにしてくれる。
 - (107L5-4)
 - ・ 石と木を使う産業 (108R8)
 - ・ 力学的に効率的な利用 (109L8-7)
 - ・ 達者な模倣 (110R4-112R10)
 - † 職人らしい洞察と才能 (110R4) † 美術の起源 (110L4) † 魔術的拘束からの自由さ (112R5)